

# 安心院地区 アンケート結果報告書

安心院地区では、2020年7月から8月にかけてアンケート調査を行いました。アンケートは安心院地区の各世帯(大人)、中学生、小学生の3種類を配布し、その結果を分析しました。

## ～目次～

### 1.小学生のアンケート結果分析

(1) 学年・性別-----	p2
(2) 習い事-----	//
(3) まち協にしてほしいこと-----	p3
(4) これからの安心院地区が大事にすべきこと-----	//
(5) これからも安心院に住み続けたい?-----	//

### 2.大人と中学生のアンケート結果分析

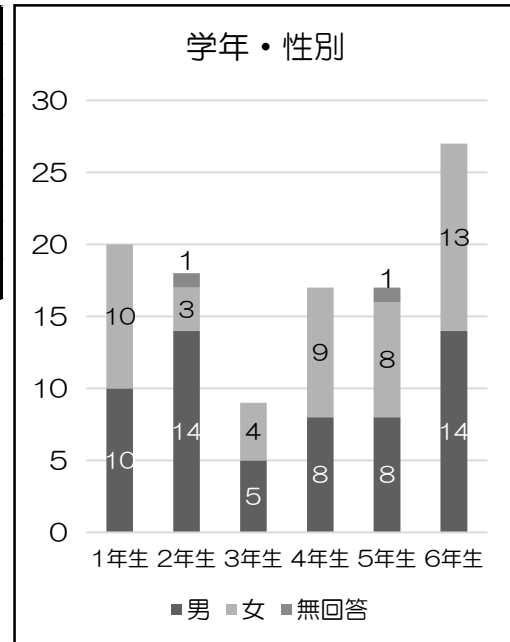
【I】回答者について	
(1) 自治区-----	p4
(2) 性別-----	p5
(3) 年代 ※中学生は学年-----	//
(4) 家族構成-----	//
(5) 安心院地区の住歴-----	p6
【II】安心院地区での暮らしについて	
(1) 暮らしの満足度-----	p6
(2) 地域の活動で困っていること-----	p7
【III】まち協について	
(1) まち協の活動の参加経験-----	p7
(2) 参加経験がない理由-----	p8
(3) 広報誌「まち協だより」の認知-----	//
(4) この10年間のまち協の活動の慢速度-----	p9
(5) 次の10年まち協が力を入れるべき活動-----	//
(6) 有償ボランティア-----	p10
(7) 移住者の受け入れ-----	//
(8) まち協の活動に協力してもらえるもの-----	p11
(9) 地域のためにやっていること・やりたいこと-----	//
手伝ってほしいこと-----	p14
(10) まち協への意見-----	p15

# 1.小学生のアンケート結果分析

2020年7月から8月にかけて安心院小学校の児童にアンケートを実施しました。大人や中学生の内容と比べ、設問数が少なくやさしい内容のアンケートです。全校児童108人中、106人分の回答を回収でき、回収率は98%でした。

## 1.学年・性別

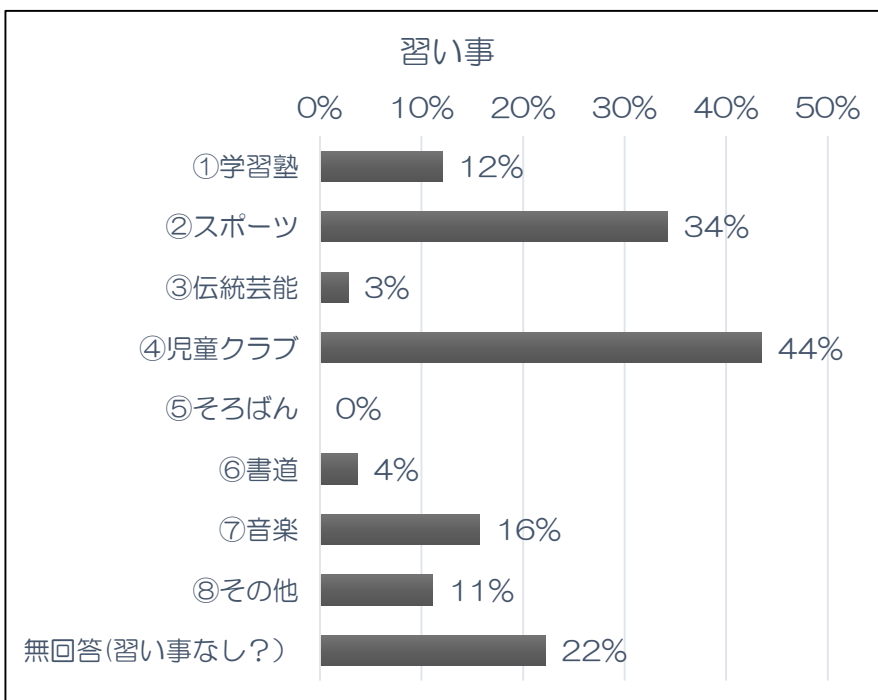
	男	女	無回答	合計(人)
1年生	10	10		20
2年生	12	3	1	16
3年生	5	4		9
4年生	8	9		17
5年生	8	8	1	17
6年生	14	13		27
合計(人)	57	47	2	106



学年別人数を見ると小学6年生が一番多くなっており、小学5年生以下は少子化の影響を受け多少児童の数は減っていて、特に小学3年生の少なさは顕著に出ています。

また、性別で見ると小学2年生は男女比に大きな違いはあるがそれ以外の男女比のバランスは良くなっています。

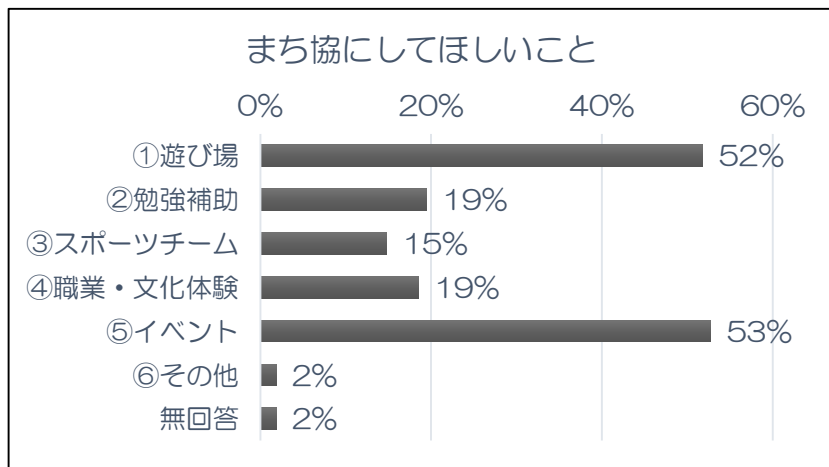
## 2.習い事は？（やっている習い事、参加している活動すべてに○）



④児童クラブが一番多く、両親共働きなどにより、放課後も家ではなく他の児童と共に学校で過ごしながらかつて様々なことをしていることが考えられます。

他にも②スポーツが多く、①学習塾など児童の体力・学力向上などを旨とした習い事の割合も高いです。

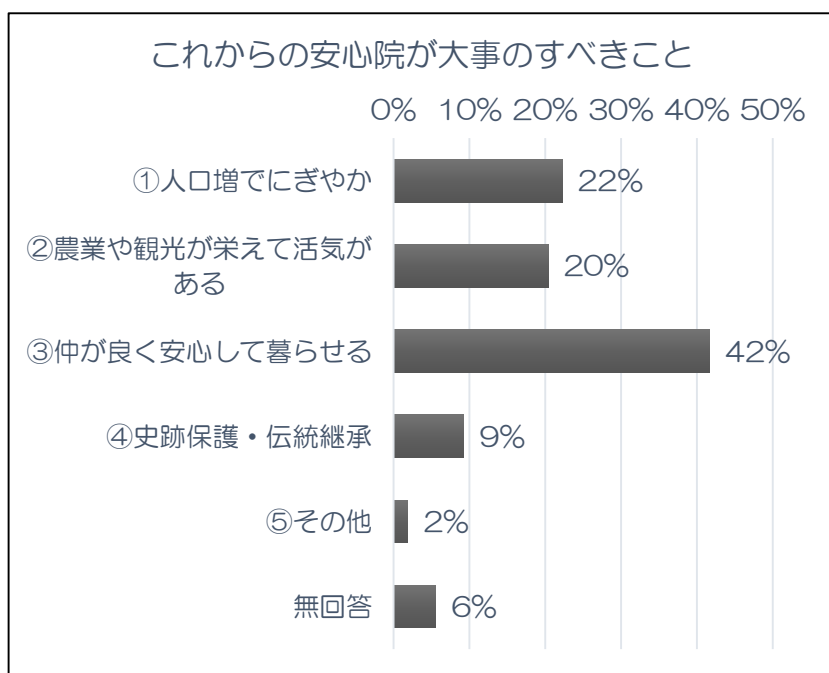
### 3.まち協にしてほしいことは？（いちばんやってほしい活動に○）



①遊び場と⑤イベントの2つがともに50%を超えていて圧倒的に多くなっています。遊ぶところが少なく楽しめるイベントが少ないということが考えられます。

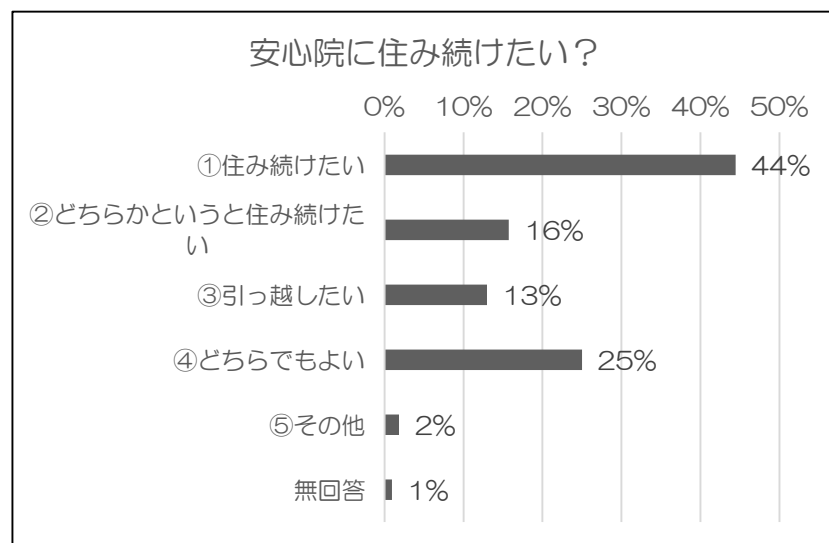
その他にも小学生でも出来る職業・文化体験をやってほしいなどの回答も出ています。

### 4.これからの安心院地区が大事にすべきなのは？（1つに○）



③仲が良く安心して暮らせるという割合が最も高く、今までよりも楽しく遊んだり、勉強したり元気に仲良くやっていくことが小学生にとっては大事だと考えられています。

### 5.今後も安心院地区に住み続けたいですか？（1つに○）



住み続けたいという人の割合が最も高く、安心院地区に今後も残って暮らしたいという小学生が多いことが考えられます。

## 2.大人と中学生のアンケート分析

2020年7月から8月にかけて安心院地区住民(大人)と中学生にアンケート調査を行いました。

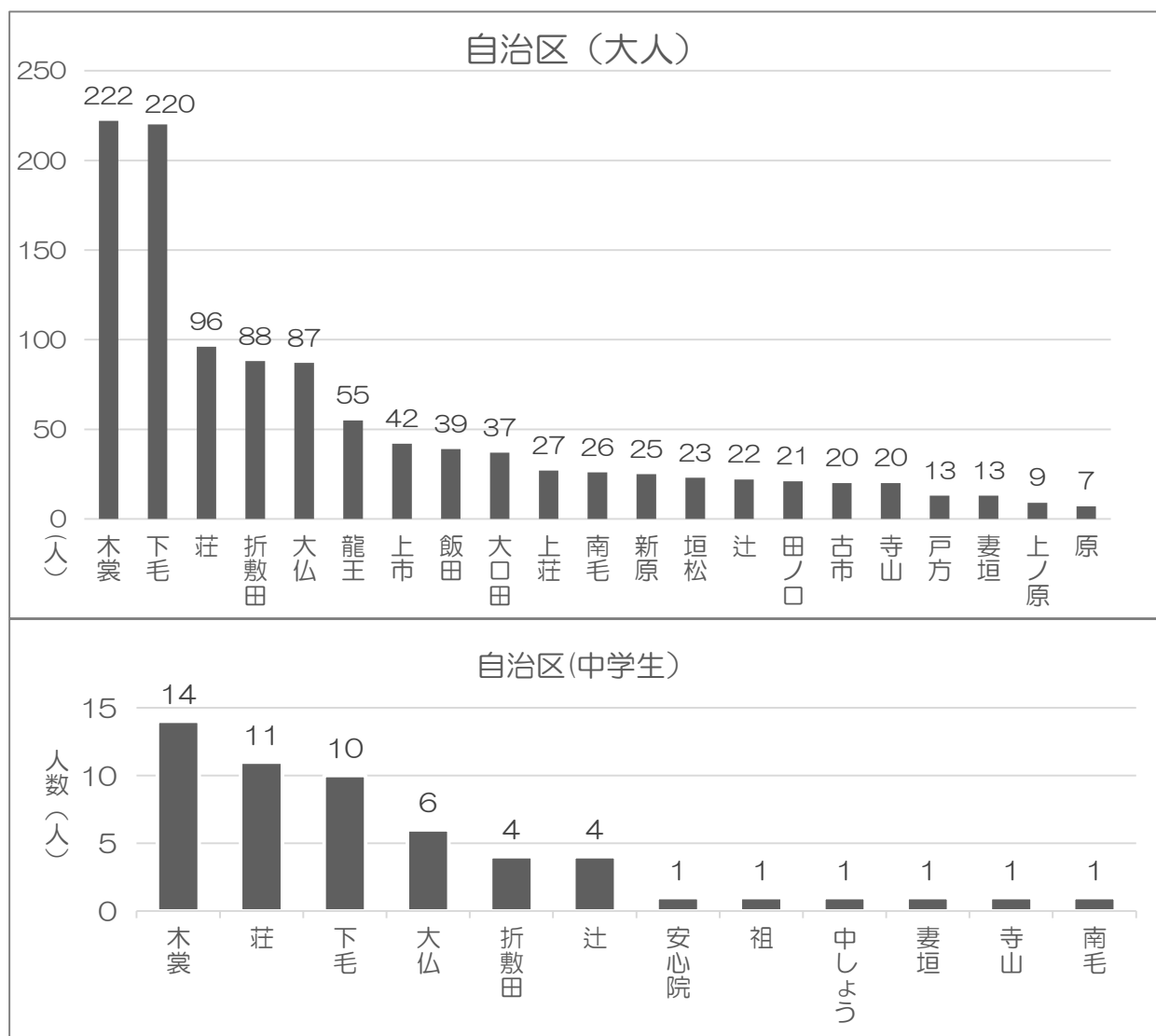
安心院地区の住民(大人)に向けては、各世帯ごとに2枚ずつアンケートを配布しました。合計で2204枚配布し、そのうち1112枚回収し、回収率は約50.5%でした。

※家族人数に関わらず各世帯に2枚ずつに配布したため、人口における回収率は不明です。  
(1人世帯でも2枚配布、5人世帯でも2枚配布)

また、安心院中学校の生徒に向けてもアンケートを実施しました。中学生に向けては安心院地区に住んでいる生徒にのみ回答をお願いし、各世帯(大人)に配布したアンケートとほぼ同じ内容(年代を聞く項目を学年を問う項目に変更)のものを配布しました。なお中学生については安心院地区在住の生徒のみと回答者を限定したため全体数が分からず、回収率も不明ですが、55枚回収することができました。

### I.回答者について

#### (1)回答者が住んでいる自治区

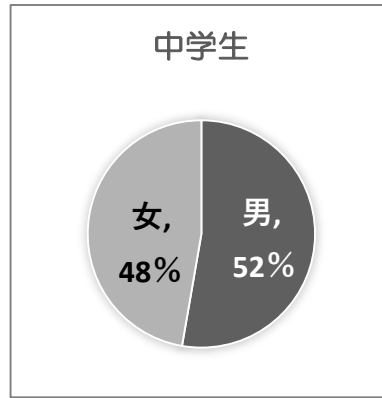
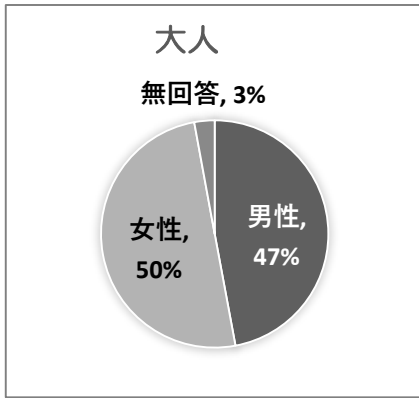


大人と中学生どちらも、木裳地区、下毛地区、荘地区が上位3位を占めています。

この3地区だけで全体の半分の人口になります。

木裳地区、下毛地区では各々全体の10%以上を占めています。

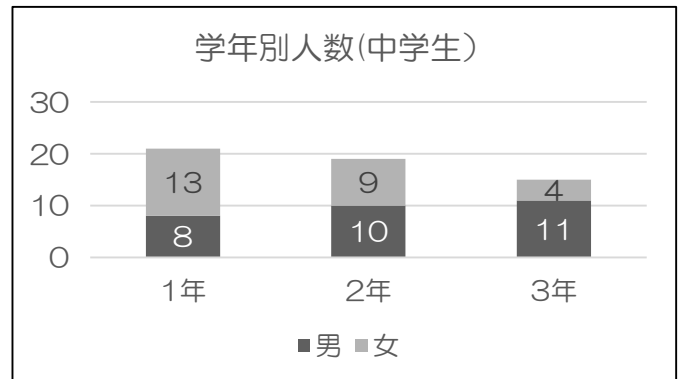
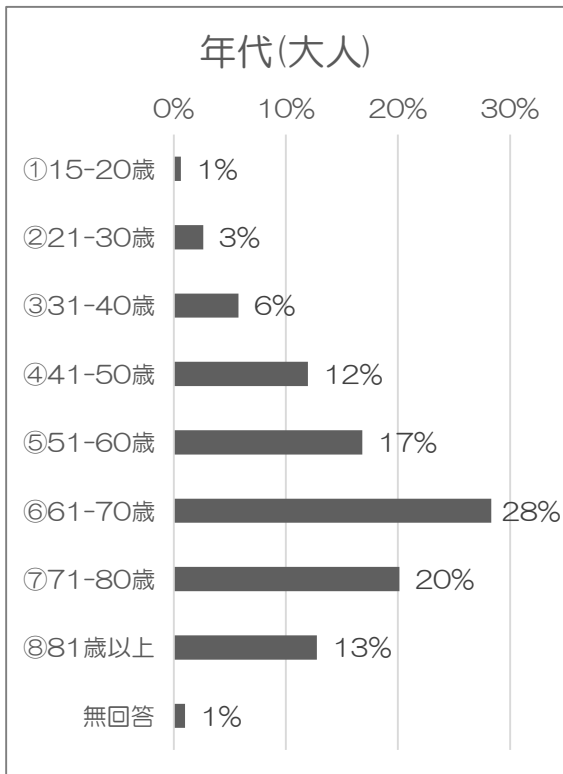
## (2) 性別



安心院地区の男女比は女性の方が僅かに多いですが約半数ずつバランスが良いことがわかります。

中学生も男子が若干多いですが、バランスが良いと言えます。

## (3) 年代 ※中学生は学年を回答

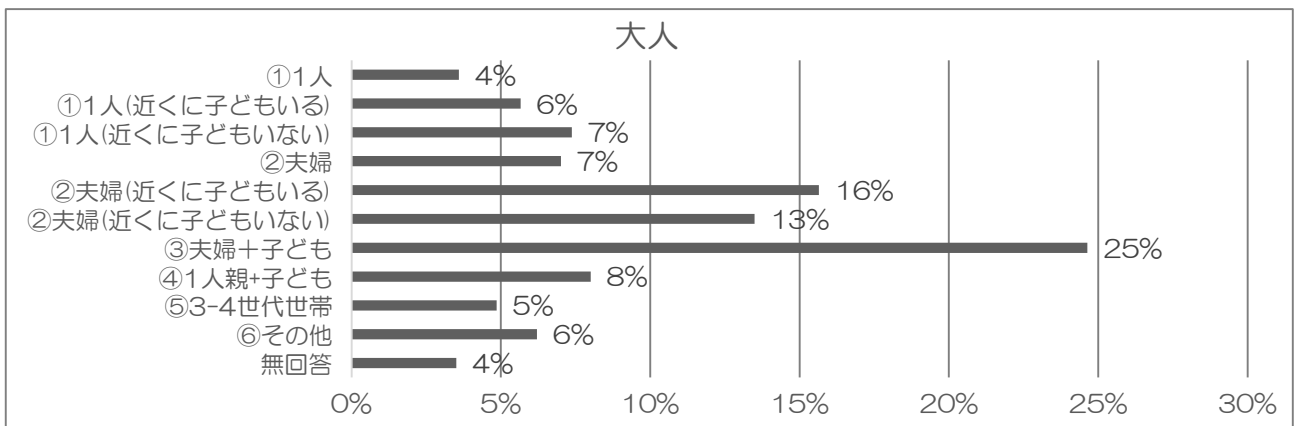


年代(大人)のグラフをしてみると、15歳から40歳までの若者を含めた子育て世代の方は全体の1割、61歳以上のシニア世代の方が安心院地区の約6割を占めていることがわかりました。

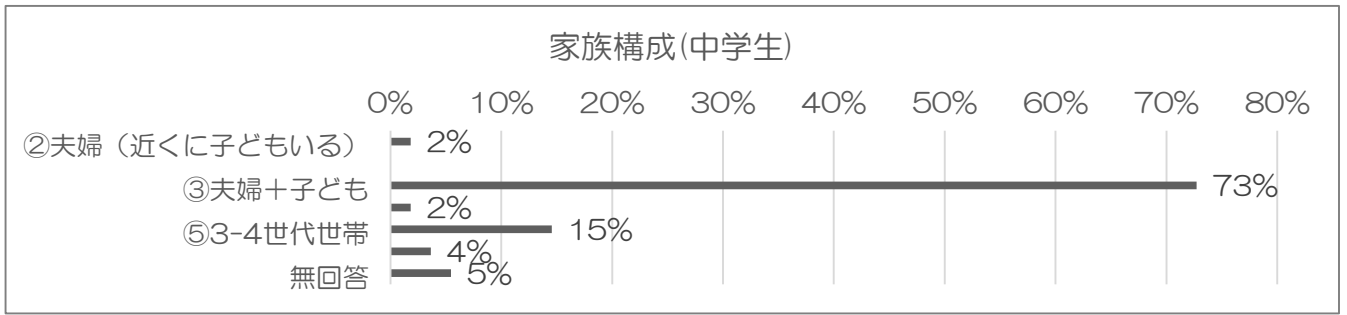
このことから安心院地区では少子高齢化が進んでいることがわかります。

中学1年生が21人と3学年の中で一番多くなっています。中学3年生は男子が女子よりもかなり多いことが目立っています。

## (4) 同居している家族構成(1つに〇)

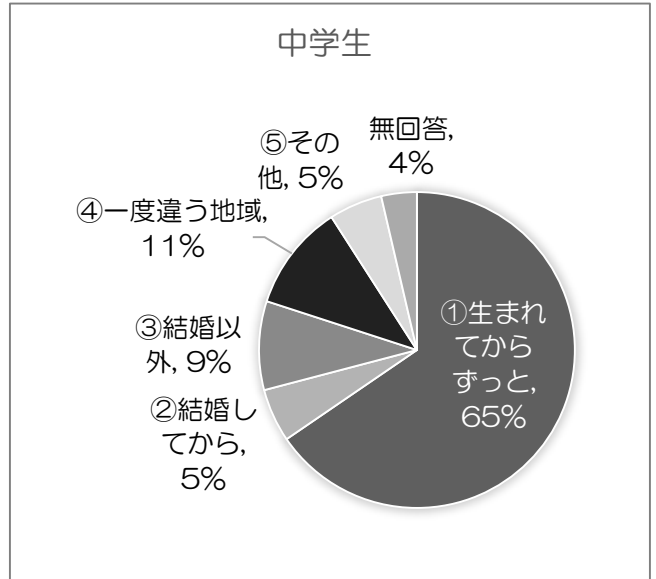
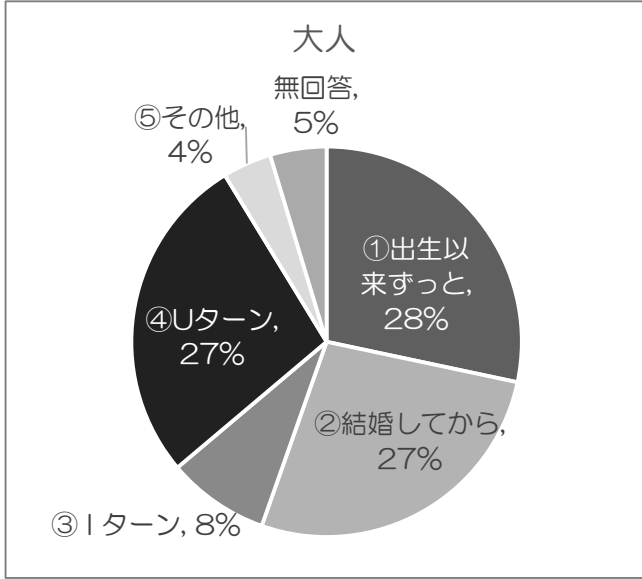


「夫婦+子供」(25%)の割合が最も高く、全体としては子供の有無関係なく1人暮らしよりも夫婦で住んでいる方が多いことがわかります。



「夫婦+子ども」との回答が全体の7割を占める結果となりました。  
「3～4世代世帯」との回答は15%と意外に高くないことが分かりました。

#### (5) 出生以来ずっと安心院地区にお住まいですか？(1つに〇)

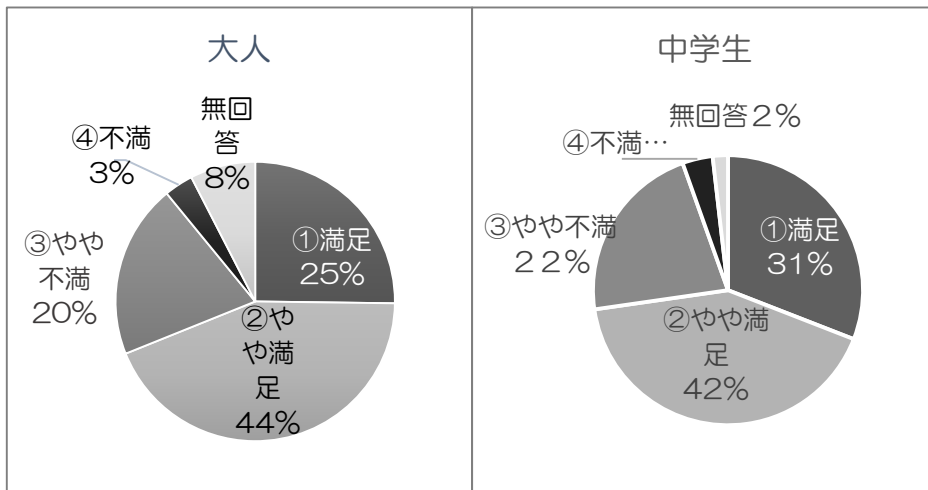


Iターンで来る方の割合が8%と低く、生来ずっと安心院地区に住まわれている方、結婚してから越してきた方、Uターンで戻ってきた方の割合は30%弱ずつ占めています。

「生まれて以来ずっと住んでいる」との回答が全体の6割以上を占めていますが、それ以外の回答が全体の3割以上を占めており、移住者が多いことが分かる結果となりました。

## Ⅱ. 安心院での暮らしについて

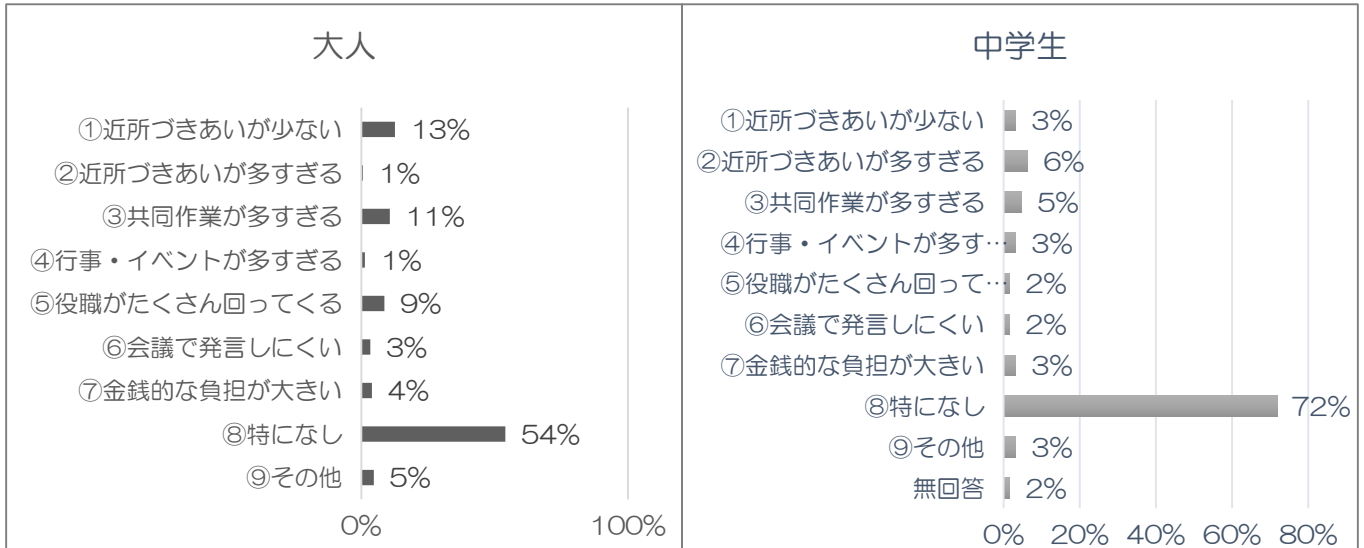
### (1) 安心院地区での暮らしの満足度は？(1つに〇)



大人は「満足」「やや満足」の割合は合わせて70%弱と、安心院地区の満足度は比較的高いことがわかります。

中学生でも満足・やや満足の回答が合わせて全体の7割強を占める結果となりました。「大人」を対象にした同質問の結果との差もあまりみられませんでした。

## (2) 地域活動で困っていることは？(上位3つまでに○)

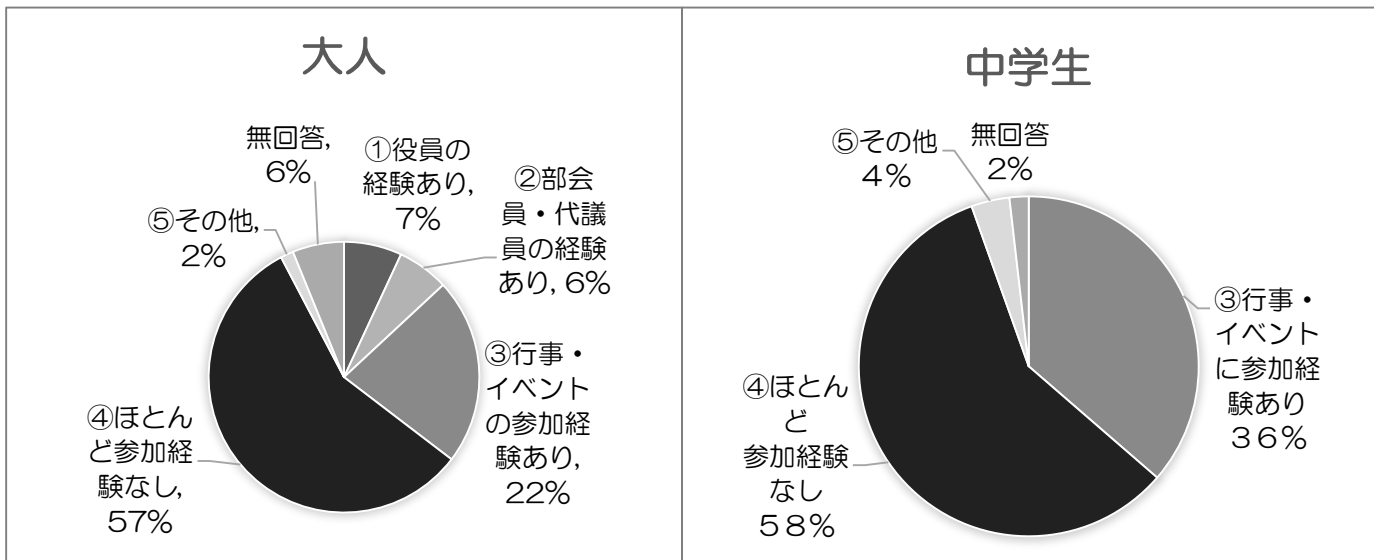


「特になし」(54%)と半数以上の方が地域の活動についてはあまり不満に思っていないことがわかりますが、困っていることの中で「近所付き合いが少ない」「共同作業が多すぎる」(10%強)があげられます。地域の活動において仕事の側面では効率性が求められていますが、私的側面ではより地域の方同士の交流を望んでいることがわかります。

「特になし」との回答が全体の7割弱を占める結果となりました。中学生ということもあり地域と関わる機会がまだまだ少ないことが大きい要因と考えられます。

## Ⅲ. まちづくり協議会について

### (1) 現在、過去にまち協の活動に参加したことは？(当てはまるものすべてに○)

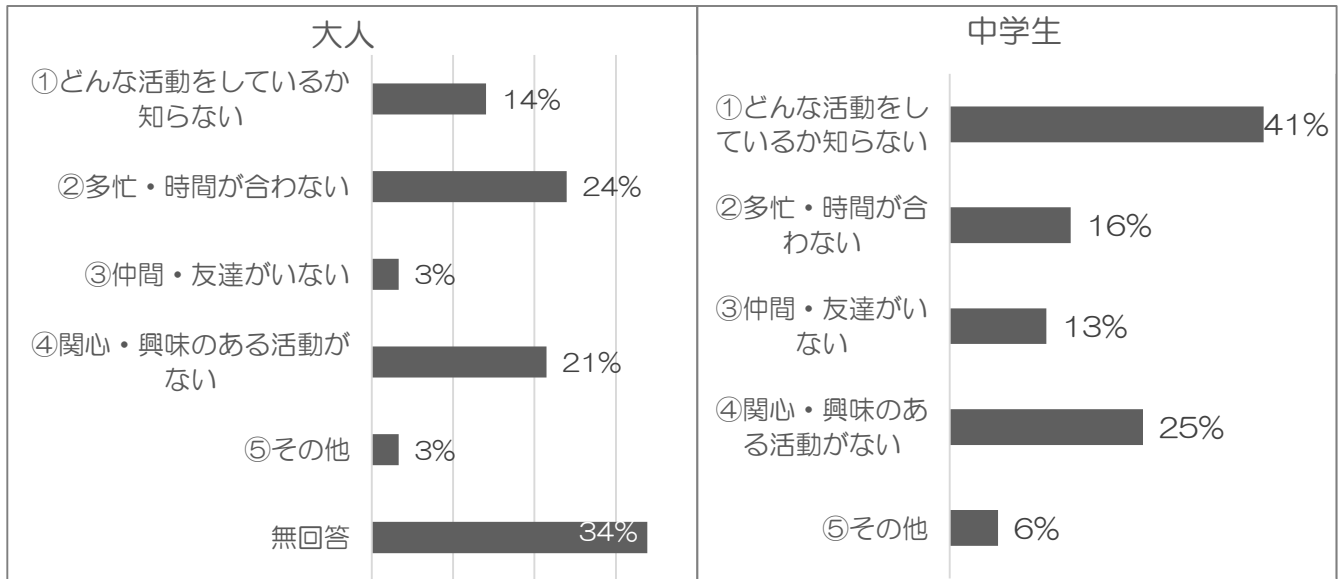


まち協の活動には「ほとんど参加なし」(57%)の方が多くことがわかりますが、「行事・イベントの参加経験あり」(22%)、「役員・部会員・代議員の経験あり」(併せて13%)の方は全体の3.5割強と若干数いらっしゃるということがわかります。

活動に参加したことの無い生徒が過半数を占める結果となりました。

一方で活動に参加したことのある生徒の割合は36%で、ゴミ拾いやお祭りなどのイベントへの参加者が多かったことがわかりました。

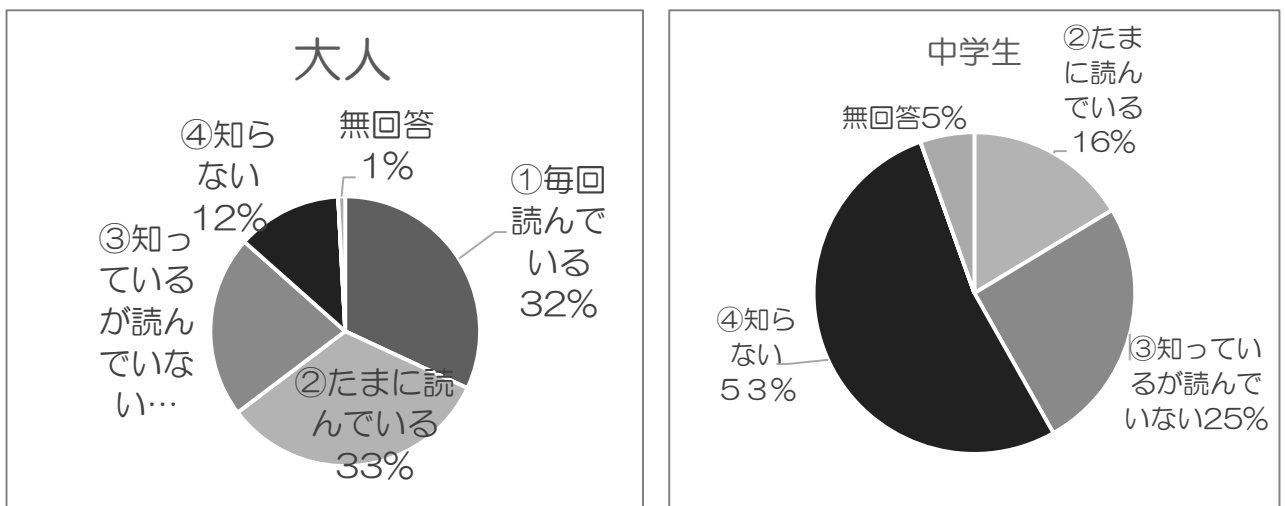
(2) 「参加経験なし」と答えた方のみ、参加されない理由は？（1つに〇）



前質問の「ほとんど参加なし」(57%)と答えた方の理由としては、「多忙・時間が合わない」(24%)、「興味・関心のある活動がない」(21%)が主にあげられます。次いで「どんな活動をしているか知らない」(14%)をあげた方も多いです。

「どんな活動をしているか知らないから」という回答がおよそ40%を占めており、まだまだ活動内容が十分に普及できていないと考えられる結果となりました。

(3) 広報誌「まち協だより」をご存知ですか？（1つに〇）

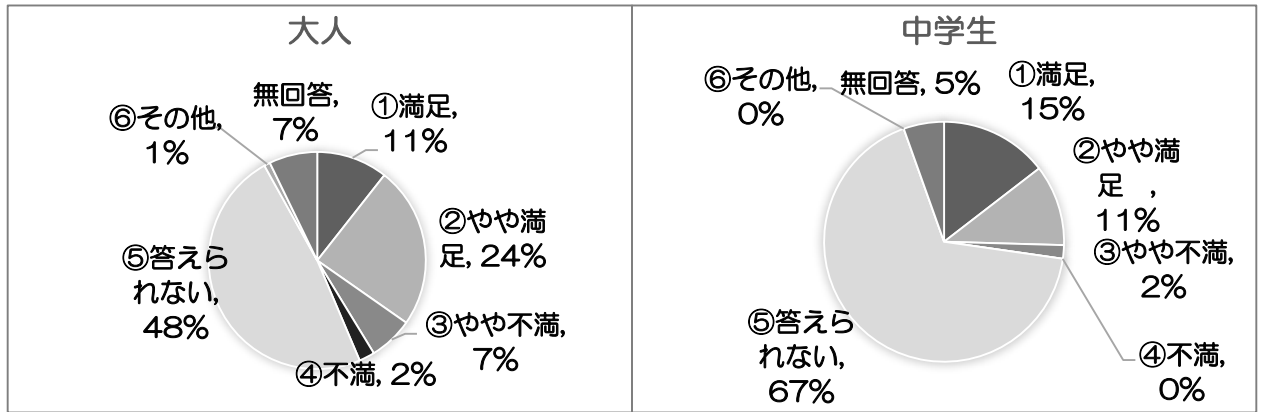


「毎回読んでいる」(32%)「たまに読んでいる」(33%)方が6.5割強と、読んでいる方が多い傾向ではありますが、「知っているが読んでいない」(22%)「知らない」(13%)方もまだまだ多く、より多くの人に読んでもらうために工夫が必要です。

「知っているが読んでいない」「知らない」が全体の約8割を占めており、さらに広報誌の存在を知ってもらう、読みたくなるような工夫が今後の課題として分かりました。



(4) この10年のまち協の満足度は？（1つに○）

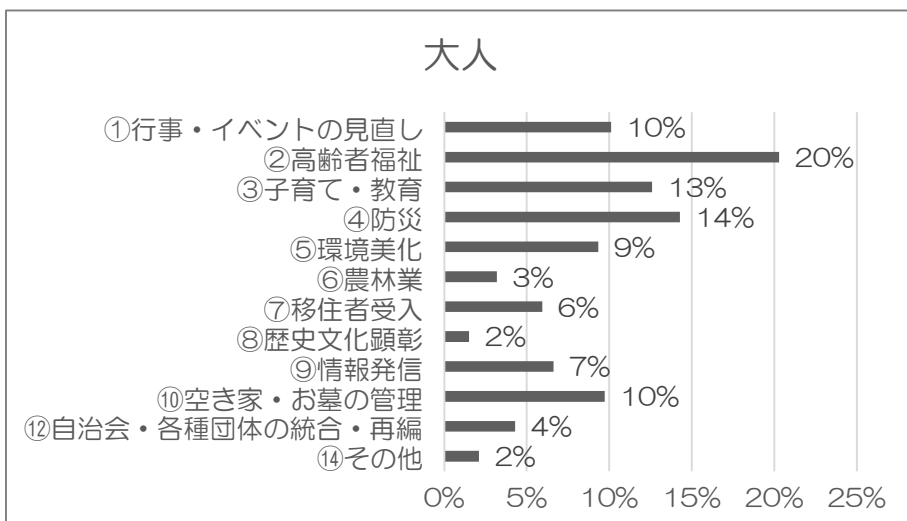


「答えられない」(48%)方が多く、まち協の活動自体があまり認知されていないことが予測されます。

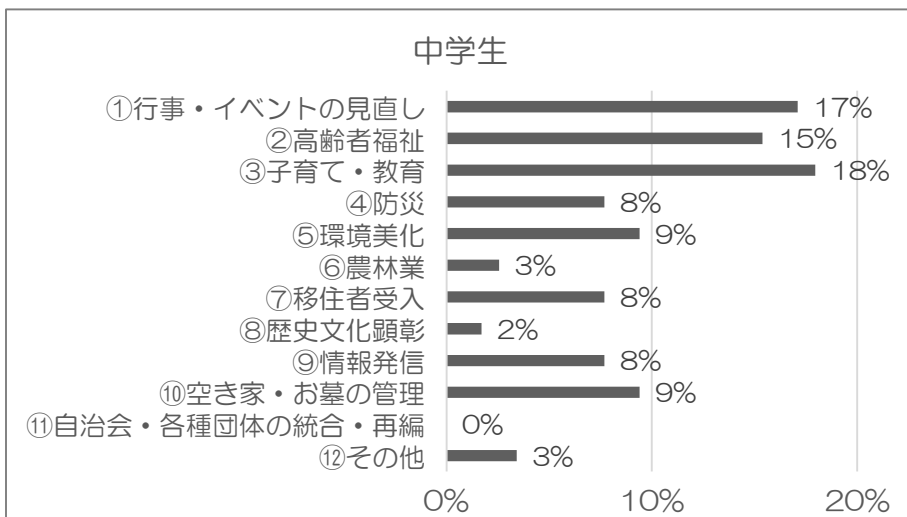
答えられないとの回答が過半数を占めており、まち協の活動の学生への普及率の低さを表す結果となりました。

一方で満足か不満足かで比べた場合、満足との回答が9割以上を占めていることから活動自体は満足度の高いものであるということが分かりました。

(5) 次の10年、まち協が力を入れるべき活動は？（上位3つに○）

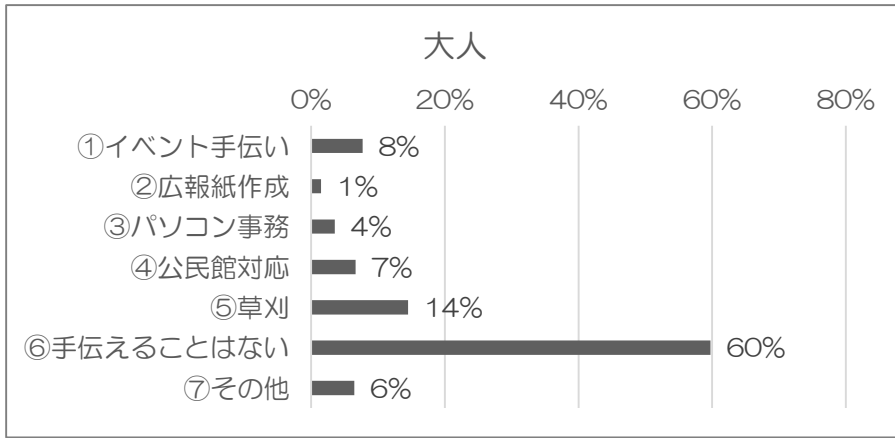


他の項目にもバラツキありますが「高齢者福祉」の項目が20%と、特に高齢者向けの施策が注目されていることがわかります。

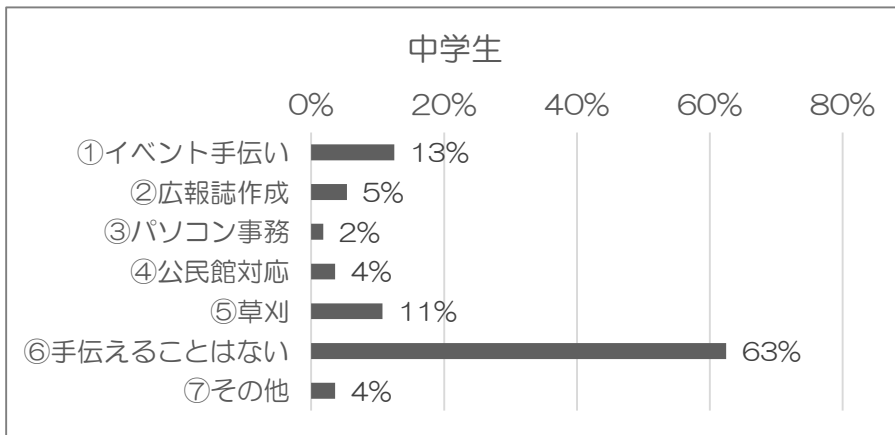


全体的に回答が分散しており、特別ちからを入れてほしい分野が偏らなかったことから、現在のまち協の活動がバランスよく行われている結果として表れているとも考えられます。

(6) 週1から月1程度、まち協運営のための作業について、有償ボランティアとして手伝っていただけますか？（当てはまるもの全てに○）

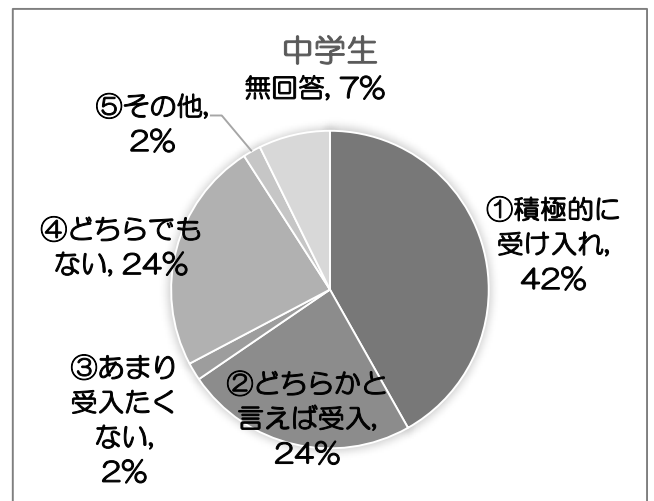
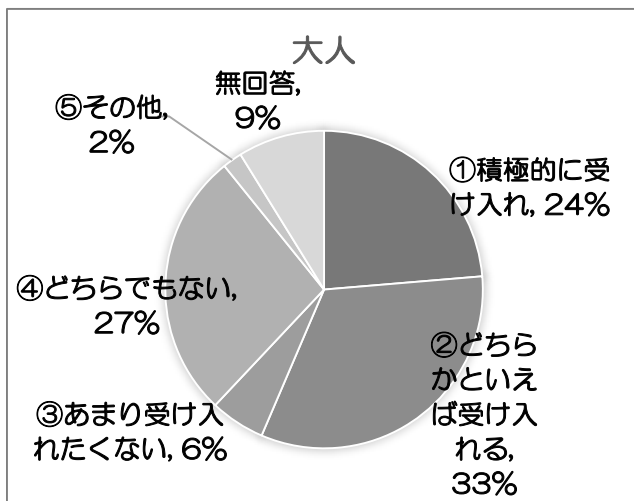


「手伝えることはない」と答えた方が約半数近くいらっしゃる、ボランティアの中身についてのより具体的な説明を加えるか、ボランティアの内容をより軽度のものにする必要があります。



「手伝えることがない」との回答が過半数を占める結果となりました。学生が気軽に手伝える作業の選択肢が少なかったことも要因の一つとなったと考えられます。

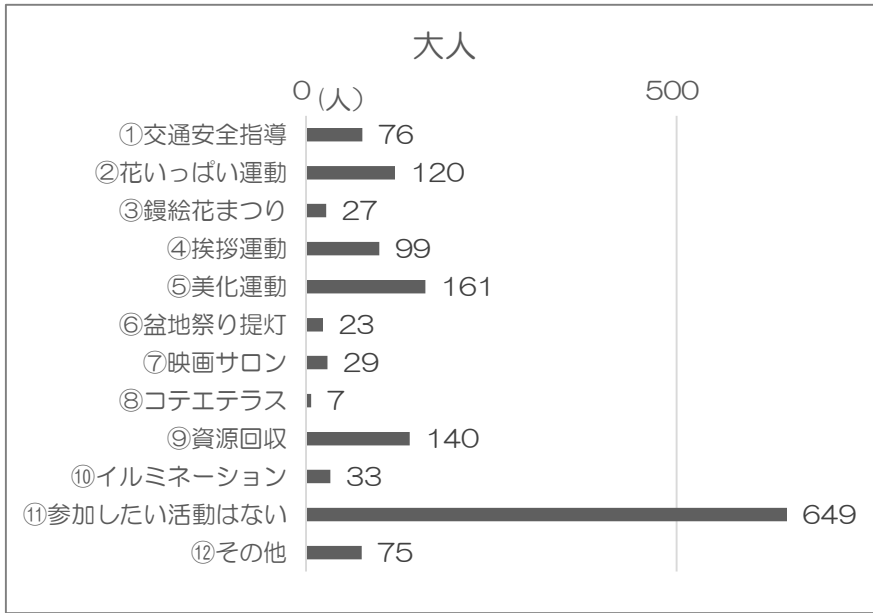
(7) 移住者の受け入れについて（年齢や家族構成、定住の意思にかかわらず、また出身者のUターンを含めて地区外からこられる方皆さんを「移住者」とします）（1つに○）



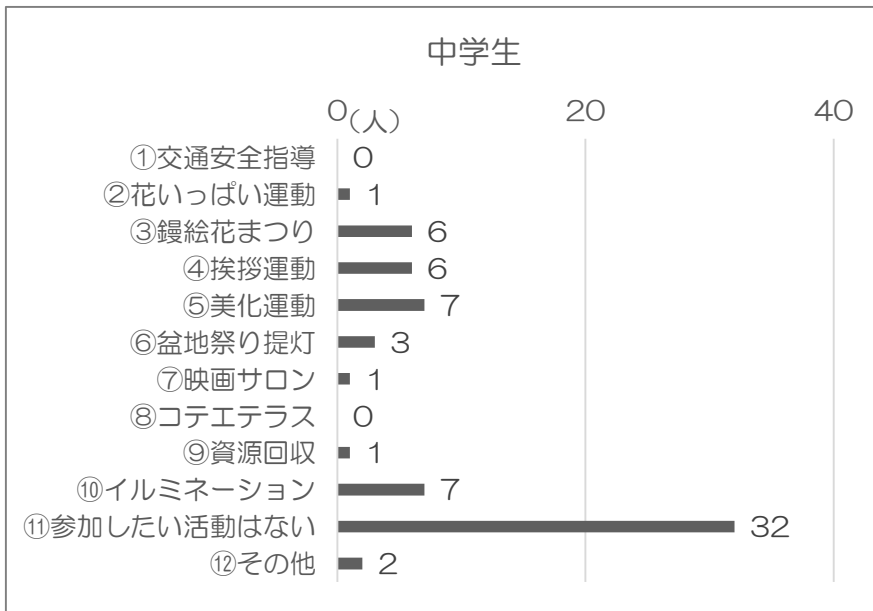
「積極的に受け入れる」「どちらかといえば受け入れる」と答えた方で併せて6割弱の方が占めており、移住者受け入れに比較的寛容であることがわかりますが、「あまり受け入れたくない」（5.6%）と答えた少数派の方の意見・理由を慎重に吟味していくことも大切になってきます。

「積極的に受け入れる・どちらかといえば受け入れたい」を合わせて6割以上を占める結果となり、移住者受け入れに寛容な考え方を持つ学生が多いことがわかりました。

(8) この中で運営メンバーとして、企画や準備、片付けなどに協力してもらえるものはありますか？（参加できるものすべてに○）



まち協の活動に運営メンバーとして協力できそうなものとしては、美化運動と資源回収の2つが10%を超えていますが全体的に見ると参加したい活動はないと答えている人が約半数となっています。背景としては、仕事が多忙で協力できない、体調が良くない、高齢だから参加が難しいなどが考えられます。



参加したい作業がないが全体のおよそ半分を占める結果となりました。他の回答では美化活動、イルミネーションなどの活動が比較的学生でも参加しやすい活動ということが分かりました。

(9) 地域のために、あなた自身がやっていること、もしくは今後やりたいことで、まち協に手伝ってほしいことはありますか？

《地域のためにやっていること・やりたい事（イベントなど）》

- ・地区の道に竹が生えて道が狭くなっている。それを一人でやっている現状である。
- ・なるべく出席して協力したいです
- ・草刈り
- ・以前（住んでいた所）では保育園での体験教室や児童クラブの子たちの体験教室をやったこともあります。いつか自分たちのできることで地域の方々との関わりを持てる何かができればとは考えています。よろしくをお願いします。
- ・作業
- ・サークル
- ・花植え

- ・ゴミ拾い、台風・水害の片付け
- ・自治区内の草刈り
- ・花壇 土手の草切
- ・現状では難しい
- ・少年スポーツ
- ・高齢でできない、やっていない
- ・地区の役員やサロンの企画・運営をしている
- ・限界集落地域の道路草刈
- ・盆踊り、祭り
- ・農作業
- ・消防団など
- ・高齢になりいろいろしてたが無理になった
- ・老人クラブにて出来ることをしている
- ・商工部員、OBにて
- ・県老連クラブが提案、公募してる地域で活躍する高齢者のパワフルシニア活動事業
- ・音楽体操(踊り・きよしのズンドコ)
- ・教室
- ・盆踊り保存会
- ・歴史まとめ(個人的に)
- ・さざんかの会に入会予定
- ・生活習慣病予防のエクササイズ
- ・交通安全、挨拶運動
- ・イベント、作業に出たい
- ・募金
- ・まだ間もないので、言いようがないです。 すみません…
- ・鰻絵通りに面しているので、家の回りの清掃、草取りなど
- ・せめて道端にお花や植物をそだてています
- ・やっていること 除草作業
- ・環境美化 特に、道路保全に努める
- ・テニスコート手前の道路にいつも、コンビニで買った弁当、お菓子の空などが入ったビニール袋が捨てて
- ・県老連クラブが提案、公募してる地域で活躍する高齢者のパワフルシニア活動事業に公募しています。補助金が出ましたらご相談して協力をお願いしたいと思っています。
- ・やっていること→・ゴミひろい…気付いた時or.できる時に行なっている。 ゴミ集積場のそうじと周辺の草取り
- ・将来は陶芸教室をやるかも？
- ・花壇の整備
- ・地区作業
  - ・美化運動
- ・地域の子供たちが喜んで参加できるものを作ってほしい
- ・自宅の下R500～走道200mの美化
- ・部落の神社、バス停の草取り清掃
- ・参加の意思はあるが、体が思うようにならない
- ・興味があれば教室に行ってみたいです。
- ・「おしうり」の断り方法を専門家から。自転車のパンク修理を手伝ってください。
- ・全町民対象に取り組み内容を考えて、実施する。実施にあたっては、区長に十分趣旨を伝え、参加増につなげる。町協会員、まち協協力員などかわる人を増やす取り組みを考える。
- ・地区体育大会への参加 映画狂櫃を再開してください 地区公民館の見学

(次ページへ続く)

- 人手が年々少なくなって作業人数の力が（限界です）なくなっている 自然に荒れていくのは当然のことです。
- 超高齢化で共同作業の人員が減り活動しにくい状況。ボランティア活動にも個人的には限界。
- 集落全員でのゴミ拾いや水路の整備及び清掃活動など
- 地区の清掃日には、全て参加しています
- ヨガ教室（夜）
- サロンへの参加その他活動（体力のあるかぎり）
- 年に3回（5月7月9月）老人会で深見川の土手500mの草刈りをしています。70才以上の高齢者かつ多く長時間の作業が出来なくなっている為加勢がほしい。内参加者比在女性が半数以上（15～17名）位
- 土手の草刈、回りの草取り、花壇の花を植えたり草取り、公民館の回りの草取りを時々しています。
- 体調不良の為、人と接することが苦痛となり、1人で地域の清掃をすこしづつしている。ひきこもり主婦になったみたい。自力で打開するしかないが時が心を癒してくれると思う。
- 宮総代をやっております
- 保護猫活動 安心院の町内にたくさん居る野良猫がいて、ケンカ、フン等問題となる行動が見られる。頭数増えすぎ。保護、去勢、避妊して地域猫として見守る活動ができれば良い
- スポーツの教室をやっております。
- 人通りの少なくなっている場所にも何かできればいいのですが…
- 地区体
- ボランティア演奏（コロナ収束した後）
- ゴミ銀行をつくる
- 再生エネルギーを町全体で取り組む仕組みをつくる（環境問題の取組）
- 近所のお年寄りと老人のサークルを月1回行っていたが一人でする事に無理があり2年余りで止めました。大きな組織にはお金が出るが善意では続きません。
- 陶芸教室
- 老人会の茶会(小地区で)
- 安心院地区では子供もまだいるため、スポーツサークルが活動している。
- ニコニコサロン(手芸、料理、体操)、花畑の草むしり
- 河川の清掃(草刈り)
- 年よりなので出来ない
- 農地を預かる、J作
- 集落の各作業
- 安心院地区では子供もまだいるため、スポーツサークルが活動している。地域を挙げてサポート（人的支援等）をお願いしたい。
- ゴミ集積場の掃除と周辺の草取りをしている。
- 高合の一人暮らしが多い シルバー人材に依頼するほどの作業でない位の作業（草刈り・修理等）気軽に出来るような
- 近隣地自宅周辺の道路、土手、堤防の草刈り 2時間程度を年5～6回

【中学生】 地域のためにやっていることとしてはゴミ拾いなどの美化活動が多く、まち協に手伝ってほしいことには楽しいイベント・行事を増やしてほしいとの意見が複数ありました。今後の活動計画作成につながる貴重な意見となりました。

## 《手伝ってほしいこと》

- ・ イベント等の取組にあたり手伝いのできる人の参加
- ・ ホームページの改善
- ・ 地域に協議会の責任役員を置き、少しずつでも全体に浸透させてほしい
- ・ 各家庭に体不自由な、人間が出そう 介ご重視（誰でもりようできるようにくふうしたらいかげでしょうか。）
- ・ 災害に対する非難方法等について検討する必要。
- ・ 花の苗を個人にも配布して下さい。
- ・ 高齢者の生活用品の貸し出し（杖や押し車など）
- ・ 一人一人が道路の美化
- ・ リーダーは大変でしょうけど「ガンバって」良い方向にみんなを導いてください。
- ・ 高齢者、一人暮らし、体の不自由な方、移動が困難な方への援助、資金、助け合いをできるようにしてほしい。
- ・ 折敷田老人クラブのゲートボール場が休園していますので、地域のゲートボール場を使えるようにしたいと思います。健康づくりのため整備し地域のゲートボール場として使用くだされば幸いです。ホームセンターセブンの裏にあります。
- ・ 各種講演会を開催して欲しい資金や動員の面もある うが人々が集うところに活気が生まれます まち協の三つの班の透明性をつくろうまだ連携が薄いですよ！
- ・ 他の地域で、地域限定で、有償ボランティアのような形で高令の方のサポートをするようなグループがありそうな情報があったので調査してみたい。
- ・ ひなまつり（恒松地区公民館）3日間開催 お茶出しに協力してもらえると有難い
- ・ スタッフ、資金援助等、超えなければならないハードルが高い。敷居を低く。
- ・ 安心院七不思議の手入れ。修理
- ・ 必要がある時をお願いしたい。
- ・ 年に3回（5月7月9月）老人会で深見川の土手500mの草刈りをしています。70才以上の高令者かつ多く長時間の作業が出来なくなっている為加勢がほしい。内参加者比在女性が半数以上（15～17名）位
- ・ 草刈
- ・ 空き家の管理
- ・ あるものをあるだけ、自分たちで考えて、地域で楽しむ方法をしています。ボケ防止のため
- ・ 防犯カメラ等ところどころにつけてほしい
- ・ 仕事が欲しい。働く場所がない。収入がないのが一番情けない。
- ・ 専門家からのアドバイスをもっと欲しい
- ・ 草刈り等部落電の作業、高齢者女子一人家庭が多く、作業が困難となっている
- ・ 高齢者宅の除草・清掃、墓地の清掃

## (10) その他、まち協への意見

- 取り組みご苦労様です。住民の参画意識を高揚するのは至難です。
- 色々な活動している方に敬意を持っています。ありがとうございます。
  - 自主財源をどのように得るかを考えて活動してほしい。有償ボランティアの希望者を募集して専門部として立ち上げ、運営していく方法を考えて欲しい。まち協の出店をしてはどうか？
- 頑張ってください！
- 地域の方が提案したい事が出来る提案箱を設置してほしい
- ふれあい文化祭に共催として実行委員会に(4地域のまち協にお願いしたい)参画願う。旧安心院町の大きなイベントですので是非お願いします。
- 古家の再利用(宿泊施設などに)
- 高齢者なので何にもできませんが頑張ってください
- 安心院町を盛り上げようと頑張ってもらっちゃると思います。一町民としてうれしく思う。イベントもあり、町もきれいでいいことだと思う。イベントは少し小規模かなー。
  - 高齢で身体が弱く参加できず、会の皆様に感謝しています。
- お疲れ様です。安心院のためにありがとうございます。
- ご苦労様です。なかなか協力することが出来ずすみません
- ボランティアでお手伝いできることがあれば参加したい
- 家々の樹木の道路へのはみ出し等の刈込が出来ればと思う
- まち協だよりを読んだことがないので読んでみようと思った
- 皆様ご苦労様です、ありがとうございます
- 高齢なので身の丈にあった活動を。いつもありがとうございます
- 最高は無理でも、最低は協力できます
- アンケートの趣旨説明が言葉不足、総会資料の配布をしてほしい
- いつもご苦労様です
- 10年間も入れ替わりがないのか？総会資料の配布がないのはなぜか
- 子供が遊べる公園がほしい
- 今まで参加経験ないためよく分からない
- 以前参加した際とても協力的で楽しかった。機会が合えば参加したい
- もっと若者が参加しやすい雰囲気作りを大切にしてほしい
- また映画サロンをしてほしい、石鹸作り良かった
- 大雨が降ると怖い、引き続き防災に取り組んでほしい
- ハザードマップの危険な箇所を安全にしてほしい。今後ここに居られるか悩むほど切実
- まち協を地縁団体にして積極的に活動する
- 地区すべての人が関心を持てるような風通しの良い地域づくり。若い人の意見が反映されているのか分からない
- 役員の方々、毎回活動ありがとうございます
- まちづくりの行事に積極的に参加をすれば、役員に押されることを心配している人が多いのでは？
- 鰻絵のプラネタニウム場開発すると、観こう客増えて、安心院町発展すると思います。
- お願い！ 下毛公民館前の道路の出入りが危険な時があります。学生、車が飛び出しこわい事が時々ありますので対策をお願いします
- このコロナが広がっている中で、色々な事が変わって来ているので、今一度これからの在り方について考えなければいけない時に来ていると思われまます。まずはみなさんの安全と健康を守る事からになると思います。具体的に思いつく事ができませんが、町づくりに頑張っているみなさんに感謝を。
- 神社の清掃が出来ていないので、区で考えて欲しい。

(次ページへ続く)

- ・大変ごろうさまです。明るい笑顔のまちづくりになるよう、そして、住みやすいまちづくりになるよう、これからも、どうぞよろしく願いいたします。
- ・部会員にもっと若い人の参加を勧めて欲しい。
- ・色々な行事をしているのに、知らない人が多いので、もっと知ってもらえる様な工夫がほしい。
- ・いまいち活動内容が分からない
- ・買物の代交をして欲しい。
- ・「まちづくり」のために日々色々な活動をしてくださっていることに感謝しています。
- ・高齢ですべていいことと思うし協力したいが無理
- ・町内一か所でのイベントを中心にすえても参加できない人には関係ない。各地区での自主的な活動の支援があれば地域が活性化すると思う。
- ・小学生の子供たちとか関わってくれてありがとうございます。子供が無料で参加できるイベントはうれしいです。
- ・安心院に子どものための公園を作ってください
- ・まちづくり協議会自体がわからん！
- ・まち協の部会員だが仕事の都合や子供の用事などで、なかなか行事に参加できず申し訳ないと思っています。自分の時間ができたら、参加したいと思います。
- ・これからもまちづくりよろしくお願いします。何かあれば、ご協力いたしますのでお声掛けください。
- ・いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・買い物や病院など車を運転できない独り暮らしの老人に住みやすい環境を提案してください
- ・仕事が休みの時には協力したいと思っています
- ・まち協（というか市が）混ざす目的のため、何をすべきか、何をカットするかはっきりすること、金があるからやっている内容、金だけ出して、あまりかかわって無いものがある。出生率を上げ、移住者を増やすのは良いが、現実的でない。少子高齢化社会になりつつある現在、我々が何をしていけばよいか考えて実行するほうが、現実的である。

る。

- ・集計は、まち協会員経験者と未経験者に分けてはどうかでない意識、協力度が低くなると思う。
- ・事務局が移転してから敷居が高くなり足が遠のいた感があります（行ってみたらなごやかで開放的でした）事務局の皆さんの努力に感謝！コマツ又ムニダ！
- ・参加者が高令になると地域のイベントにも力がいらない。参加者が歩けるキョリでのイベントをやれるには、公民館（集落）の活用しかないが。
- ・メリハリが欲しいですネ
- ・教職員OB会も悪くないが一般市民の意見が重要である。
- ・役員等の多選化が著しい。組織の刷新を。地区体は合併時の5年間そちのはずがズルズルしてきている。高令化で中止を含め検討を。変わりに、ターゲットゴルフ、ソフトバレー等に移行しても良いのでは。
- ・私は区長は一期だけでしたが、何期も続けて居られる方がゴミ拾いもして下さっているのを見て大変頭の下がる思いです。出来れば私がやらねばと今回のアンケート調査で思いました。
- ・若い人（特に女性）にどんどん入って頂いていろんな事に参加して欲
- ・特定の人が参加して、一般の人にあまり情報提供が伝わっていないように思われるもう少しPRがほしい。
- ・安心院町は年々高齢者が増えもう少し若い人達も協力してもらったら良いと思います。
- ・会社勤務 部落行事 町づくりの行事 家の仕事 大事なものからすると町協への協力がなかなか出来ない
- ・車椅子での生活ですので協力が出来ずに申し訳ありません。

(次ページへ続く)



- ・ラッシュが有効に活用できていない
  - ・他人の事を思いやれる町になってほしい。
  - ・住人一人一人が、生き甲斐を持ち、未来を夢見る事ができる地域であれば素晴らしいと思います。
  - ・一人暮らしの方が（老人）がふえています。何かあった時近くにも誰に連絡していいのか連絡先も知らなくて困った事がありました。特に急病の時は他人なので救急車にも乗れず…。出来れば一人暮らしの方はいざと言う時に誰に連絡するのがいいか近くの方でも班長さんでも事前に知らせていた方がいいのでは…そしてもうひとつ空家が危ないです
  - ・これから、一人で生活しているお年寄りの方が増えて行くと思うので、地域で何か自分のこととして考える機会を持って欲しいです。まち協の方々、いつもご苦労様です。ありがとうございます。
  - ・お疲れ様です
  - ・まち協のホームページを更新した方がいいと思う（地区の人口は当時より減っています）
  - ・コロナ禍になり都会から人が流出してくる可能性が高くなった今、移住者受入を積極的にやっていくとよいのでは。こういったアンケートを取ることは良いと思う。1-2年に1度くらい調査して、小さなことでも実行できることは、即行動を起こしていく習慣がつけば、住民も関わる人たちも進捗が伝わると思う。又、アンケートの集計結果を住民に知らせてほしいです。
  - ・町会になると、足（車）がないとどこへも行けないので、大変淋しく思います。参加したい事度々ありますが、考える事と実行する事への心が一致しません故…？
  - ・ふるさと応援寄付金事業について、市交付金の40%位の予算計上で、残額は全て予備費として繰越し積立で予算となっています。納税者の意志等を考えると、少なくとも50%以上は、執行すべきと考えています。町協だより46号（R2. 3. 13）発刊には、納税者へのお礼として、納税者の意に添うよう、若年者育成・高齢者支援に予算執行とあるが、
- 令和2年度予算では、サロン協賛金が10,000円の減額で20,000円になっています。子供会運営支援は50,000円の増額となっております。地区内の老人クラブ運営は財政面でも非常に厳しい状況で存続も困難となっています。高齢者支援対策として、地区内にある老人クラブの活動支援として、運営助成を検討してほしい。是非ともよろしく願い申し上げます。
- ・まち協の認知度が低い。区長会＝まち協ですか。まち協の独自性が見えない。
  - ・馬場橋以北の立木を切ってほしい。
  - ・馬場の中の木が多いので切ってほしい。台風で水が出た時が怖い。
  - ・行事に対する感上かりが少ない感じ
  - ・現在、安心院地区は深見、津房、佐田に比べ、人が多く、まだ余裕があるように見える。村部等では、高齢化が進み、道路愛護デーの草刈りも人がいないため、まち協の必要性が生じている。安心院地区は、まだそこまでの心配はないことはある意味幸なことだと感じます。
  - ・安心院の発展のため活動していただきありがたいです。あと何年かして退職して時間の余裕ができると参加できるといいなあと思います。退職したあと参加しやすいシステムがあればよいと思います。
  - ・まち協の人が年寄りが多いみたいでもうちょっと若い人のアイデア等取り入れた方がいいのではないかと
  - ・ご苦労様です。時間がなく協力できずすみません。
  - ・若いときは町内の美化運動にも参加しましたが今は高齢の為他人に迷惑をかけないよう静かに毎日を送っています。
  - ・まち協の年間計画等、広報で掲載してほしい
  - ・一般住民への広がりがない

（次ページへ続く）

- 活動内容が行事やイベントに片寄っては、真のまちづくりが遠のきます。よりよいまちづくりは人づくりも兼ね、ソフト面、ハード面からもよりよいまちづくり（別名・都市計画）をしていただけると助かります。
- 忙しい中で活動している方に頭が下がります。
- まち協の設立から10年間、自分のできる限りの手伝いをしてきたが、今年の組織再編より何の通知もないまま、外されたようです。全然手伝わなかったことは無いのですが、10年間何だったのかとむなしい気持ちがします。
- 三女神社掃除が出来てなく、町のはじです。
- 活動への協力の時間的余裕がなかなかできなくて申し訳無いです。
- いつも地域のために本当にありがとうございます。月1回というのは私には負担がありすぎます。が、年1.2度くらいならお手伝いできるかなあとと思います。子育て、仕事と忙しくお力になれずすみません。
- 地区外から入ってきて、わいと、とけこめないと思います
- いつもありがとうございます。
- いつもありがとうございます。お陰で町に活気が出ていると思います。花もいつも綺麗で気持ちが良いです！
- ご苦労様です
- まち協の運営、大変だと思いますが、地域のために頑張っておられることに感謝します
- まち協のことはよくわからない！
- 区長の仕事が多いので、戸数は少なく限界集落で、行事や区長の会議を簡素化してほしいです。役を交替する人がいない。区長8年目です。
- 貴事務局の負担軽減が課題となっている折、時間的身体的に参加することができず申し訳ありませんがますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。
- 区長になると必然的にまち協の役員となるのは問題である
- 農業場の収穫時の手伝いを有償で

【中学生】スーパーや飲食店を建ててほしいとの意見が多数寄せられました。こどもたちの楽しめる場が不足しているとすると、楽しいイベントを増やすことで少しは解決につなげることができると考えられます。

# 安心院地区 アンケート結果クロス集計

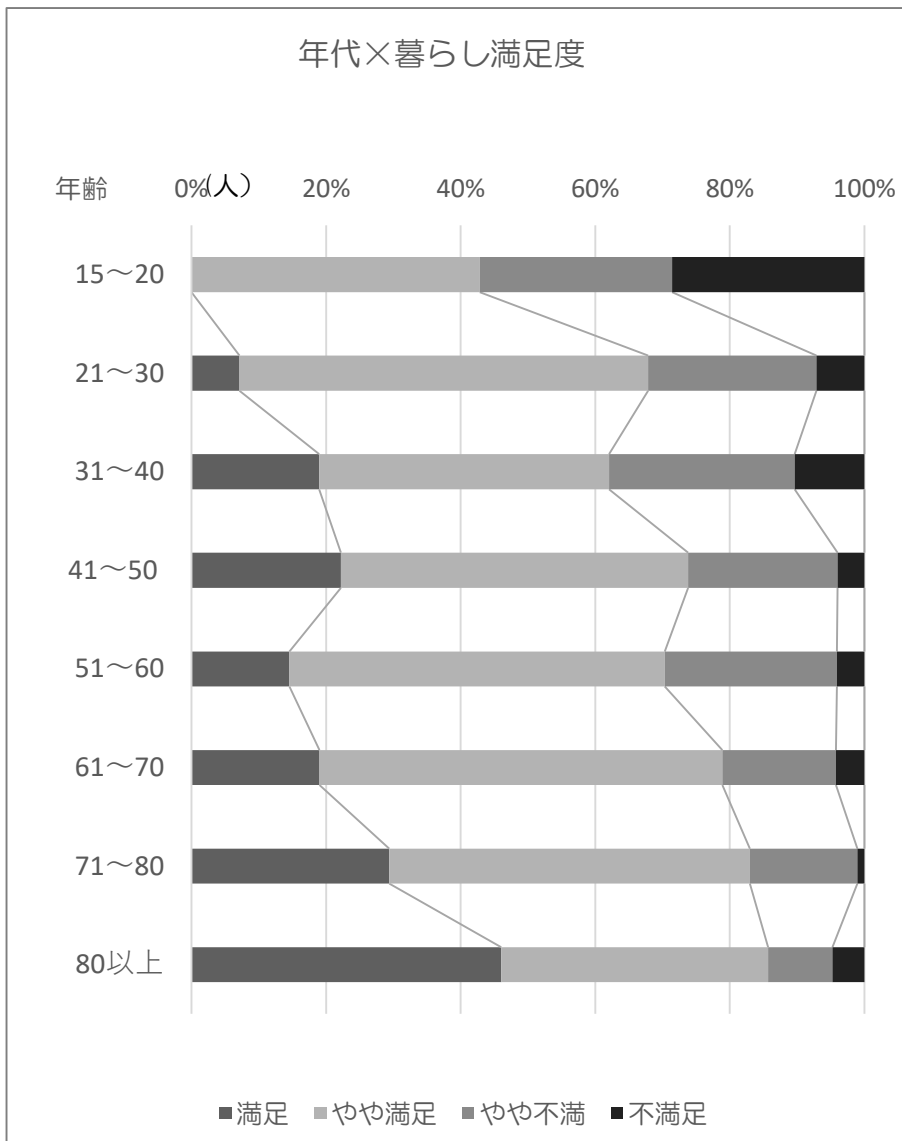
2つの項目の結果を組み合わせて、以下の5つのクロス集計を作成しました。

(大人のデータのみ取り上げて集計しています)

## ～目次～

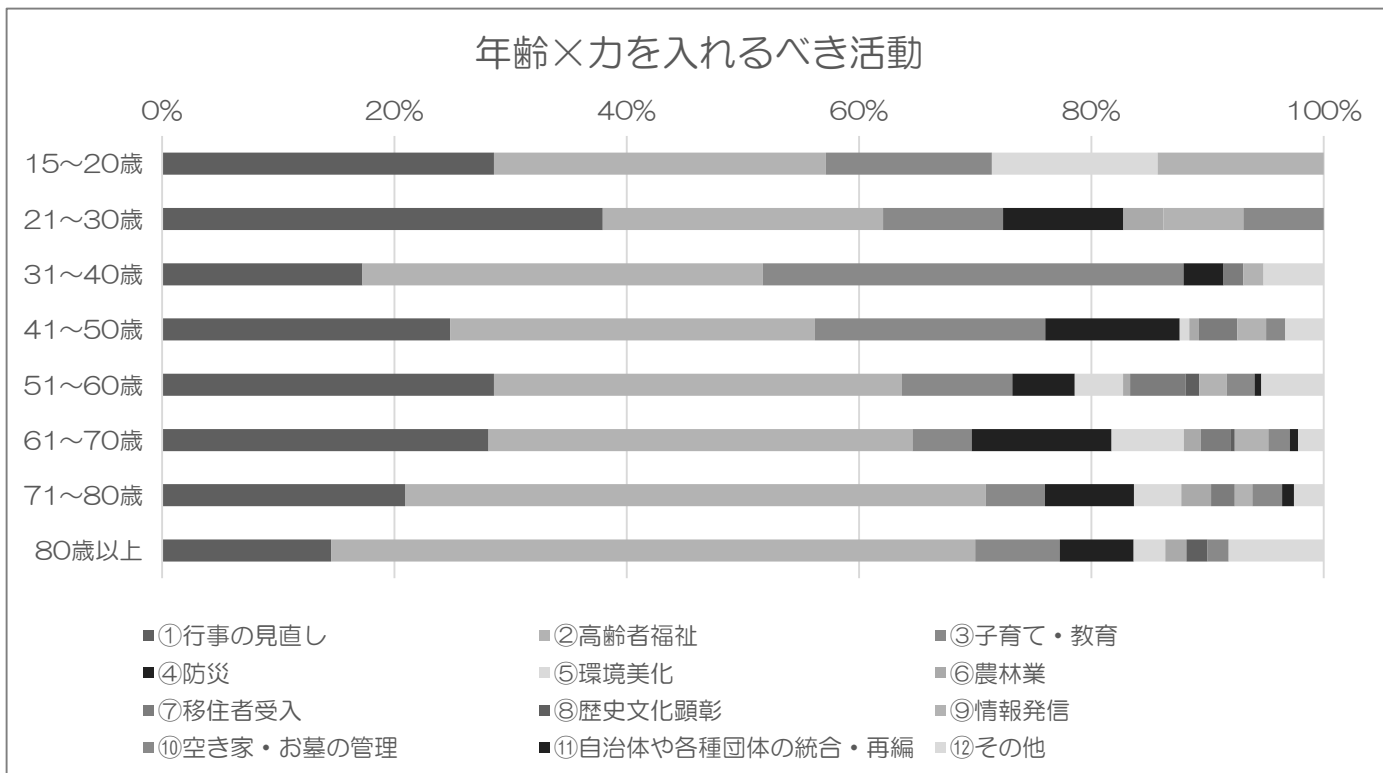
- 1.年代×暮らしの満足度-----p.1
- 2.年代×次の10年まち協が力を入れるべき活動-----p.2
- 3.まち協活動の参加経験×広報誌購読----- //
- 4.年代×まち協活動に参加しない(できない)理由-----p.3
- 5.移住者受け入れ×住歴----- //

### (1) 年代×暮らしの満足度



年代ごとに暮らし満足度の割合を比較しました。高齢者の層（61歳～）の人たちの暮らしの満足度は、が満足やや満足と答えている人たちの割合が多くなっています。しかし、子育て層（21歳～50歳）の人たちは人数の割にやや不満や不満と答えている人たちが多く、子供の遊び場などの不足による子育てのしにくさがあると考えられます。

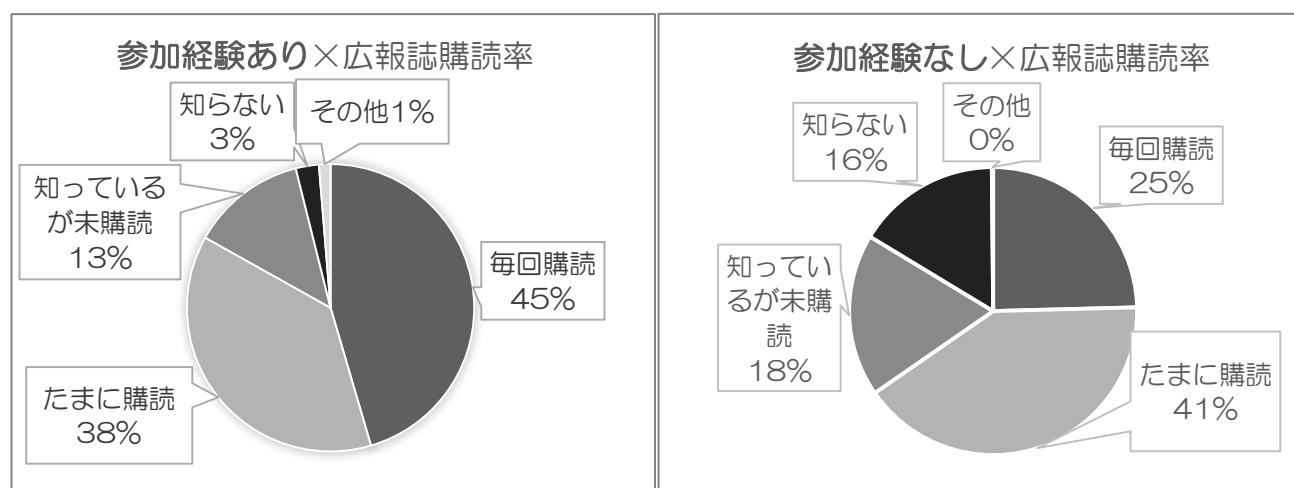
## (2) 年代×次の10年まち協が力を入れるべき活動



40代以降になると高齢者福祉に力を入れるべきだと答えている割合が年齢を追うごとに増えていて、高齢者の割合が高いということもあり高齢者のための活動に力を入れたいと思っている人が多いと考えられます。

その他にも、行事・イベントの見直し、防災、子育て世代では、子育て・教育にも力を入れるべきだと考えている人が多くなっています。

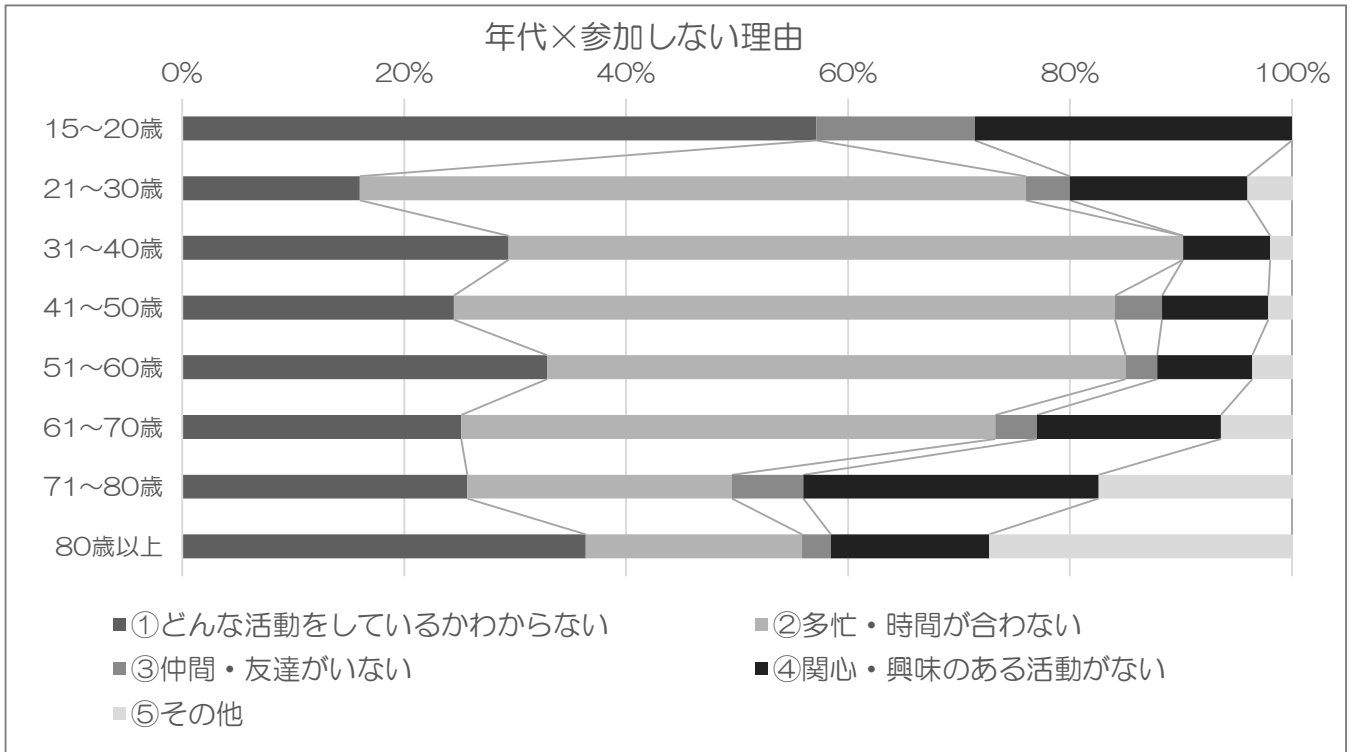
## (3) まち協活動の参加経験×広報誌購読



まち協の活動に参加経験のある人と経験のない人の、広報誌購読率を割合に出しました。参加経験のある人は広報誌を購読している人は8割にも及びました。

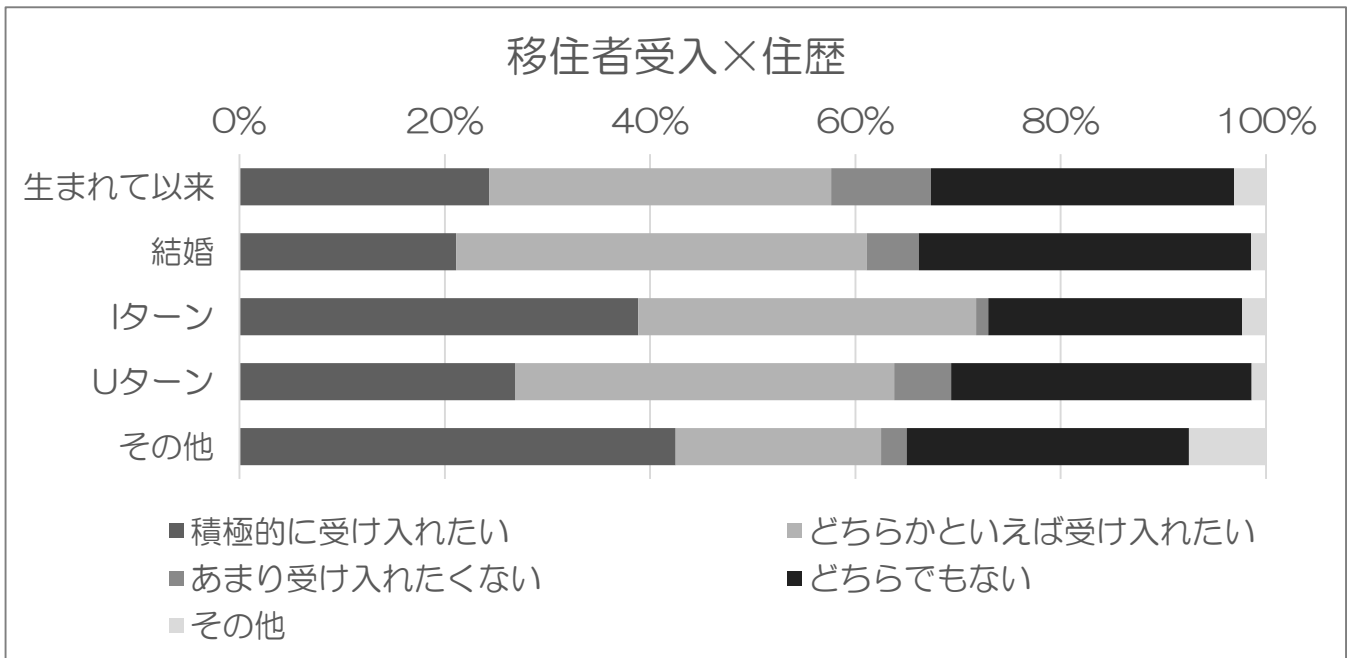
まち協の活動への参加経験なしの人たちでも広報誌を定期的に読んでいる人は6割以上いることが分かります。まち協の活動に参加経験なしという点においては広報誌の影響も多少はあると言えますが、多忙で参加できないということや高齢の為参加できないなどの理由の方が大きいと考えられます。

#### (4) 年代×まち協の活動に参加しない（できない）理由



10～60代を見ると「多忙、時間が合わないから」という意見が多くなっており70代以降の人たちは、多忙などの理由もあるが、どういう活動をしているかわからないや興味・関心のある活動がないと答えている割合が増え、その他の意見として体調が良くないなどの理由も参加しない理由となっています。

#### (5) 移住者受入×住歴



特にUターンしてきた人は、一度他の地域に住み安心院地区に戻ってきた人達であることから結果から見ても移住者の受け入れには積極的だと考えられます。全体的に見ても移住者の受け入れには積極的な姿勢を見せている人が多くなっています。